

令和2年度/令和元年度 事業報告書

自 令和2年4月1日
至 令和3年(2021年)3月31日

I. 概要

令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は瞬間に全世界に感染が拡大した。東京オリンピック2020は延期され1年経った現在でも終息していなし。また、感染力の強い変異ウイルス(N501Y、E484K)出現もあって令和3年4月には3度目となる緊急事態宣言が発出され、海外渡航の自粛継続、移動制限、働き方改革、自然災害への危機管理対策、市場の変化への対応などと重なり厳しい状況が続いている。

そのような環境のもと、国内市場では好調だったスポーツ観戦やコンサート・観劇用の双眼鏡・単眼鏡市場は一転して冷え込む一方、輸出ではサプライチェーンにおいて一時問題が生じたものの、国ごとによる事情は異なるがアウトドア系において回復途上にある。なお、ISO国際会議は全てオンラインでの開催に変更され国内委員会でも同様の対応をおこなっている。また、イベントへの出展を予定していた8月の経済産業省こどもデーは中止になるとともに、11月のジャパンボードフェスティバルと2月のCP+2021はオンライン開催となった。両イベントともに双眼鏡・望遠鏡の魅力伝えることは難しいとの理事会及び関係者の判断により参加は見送った。

主力のプリズム式双眼鏡の日本からの輸出(出所:2020年財務省輸出入統計)は、数量で約9万個、金額で23億円(前年24億円、平均単価は約2.5万円)、対前年比数量は10%減、金額では8%減とコロナ禍にあってひどい落込みはなかった。仕向け地別輸出金額上位5ヶ国の高額順及び平均単価・シェア(カッコ内)は、①米国12億円(3.3万円、51%)、②ドイツ3億円(2.9万円、13%)、③オランダ1.4億円(3.9万円、6%)、④サウジアラビア1.4億円(0.6万円、6%)、⑤カナダ1.1億円(4.9万円、5%)、上位5か国で約8割を占めている。

同じくプリズム式双眼鏡の自主統計(出所:2020年生産販売統計、産地直送含む)では、国内販売は前年比数量で55%減、金額も41%減。輸出は数量で31%減、金額で28%減と全地域とも厳しいなか、国内を含む売上比率は、①北米45%、②欧州29%、③国内15%、④その他11%であった。なお、金額ベースでの国内対輸出比率は15%対85%(前年18%:82%)と輸出に支えられている。

令和2年度の当工業会各事業の具体的内容について、以下の通り報告する。

II. 事業報告

1. 会議

- 1.1 第44回通常総会:令和2年5月22日(金)、池袋東京セミナー学院にて開催を予定していたが、コロナ禍の影響により書面審議にて決議した結果、議案は全て承認された。

【議案】

- 第1号議案 令和元年度事業報告書及び収支決算書承認の件
- 第2号議案 令和2年度事業計画書承認の件
- 第3号議案 令和2年度会費の額及びその納入方法承認の件
- 第4号議案 令和2年度収支予算書承認の件
- 第5号議案 令和2年度役員(理事・監事)選任の件

同日開催予定であった総会懇親会は、コロナ禍の影響により中止した。

- 1.2 賀詞交歓会は令和3年1月15日(金)に開催を予定していたがコロナ禍の影響により中止した。
- 1.3 理事会:新公益法人改革の法律及び定款にもとづき、継続事業報告を実施し進捗を確認した。ただし、コロナ禍の影響により報告及び決議は全て書面審議にておこなった。

- ①令和2年5月13日(水):第44回通常総会議案審議(令和2年度事業報告&収支決算書)、他。
- ②令和2年8月25日(水):継続事業実施進捗状況報告、財務会計状況、検査業務状況、他。
- ③令和2年11月27日(水):継続事業実施進捗状況報告、正会員入退会、上半期中間決算、CP+2021、他。
- ④令和3年3月24日(水):第45回総会議案審議(令和3年度事業計画&収支予算書)、他。

1.4 総務広報委員会:

- ・令和2年11月26日(木):CP+2021への出展可否に関する検討(出展しないことで意見一致した)。
- ・令和3年3月16日(火):令和3年度事業計画&収支予算書の検討、コロナ対応、Zoom会議で実施した。

- 1.5 技術委員会:コロナ禍の影響により活動ができなかった。

- 1.6 業界活性化委員会:同じくコロナ禍の影響により活動ができなかった。

2. 会員入退会情報

- 2.1 令和3年3月31日付現在の会員数:正会員数29社(1社減)、賛助会員数8社(1社減)
- ・正会員退会:ベルボン株式会社 令和2年(2020年)6月末
 - ・賛助会員退会:株式会社ガードフォースジャパン 令和3年(2021年)3月末

3. 「双眼鏡・望遠鏡歴史展示室関連」

- 3.1 電気硝子建材_大西課長様より干支の牛親子の硝子工芸品の寄贈を賜りました。
- 3.2 望友会_西岡様より『内部構造がわかる手作り望遠鏡』の寄贈を賜りました。

4. 継続事業報告

4.1 国際標準化規格関連事業 (ISO/TC172/SC4 望遠鏡 (Telescopic Systems))

4.1.1 議長: Mr. Franz Erler (オーストリア) (任期2022年末まで)

事務局: DIN, Mrs Dipl.-Ing. (FH) Petra Bischoff (ドイツ) (7月から Mrs. Clara Engesser に交代)

作業グループ: WG2 (Telescopic devices (望遠装置)) が活動中。

Pメンバー (10ヶ国): オーストリア、中国、ドイツ、日本、韓国、ナイジェリア、ルーマニア、ロシア、イギリス、アメリカ (ナイジェリアがPメンバーからOメンバーに移行)

Oメンバー (8ヶ国): クロアチア、フランス、ナイジェリア、ポーランド、サウジアラビア、スロバキア、スペイン、スイス

活動内容と総括

TC172/SC4は、「光学及びフォトニクス関連の分野のうち、望遠鏡の用語、性能特性、試験方法における規格」を制定する技術委員会であり、1992年10月にサンクトペテルブルグで開かれた第1回国際会議でSC4の活動が始まり、これまでに22件の規格が審議・制定・改正されてきた。またSC1から1件の規格が移管されており、合計23件を所掌している。

参加国は2021年4月現在でPメンバー9ヶ国、Oメンバー7カ国である。そのうち、国際会議に継続的に参加し議論しているのは、ドイツ、オーストリア、ルーマニア、アメリカ、日本の5カ国である。議長、事務局は当初ロシアだったが、現在は議長オーストリア、事務局DIN (ドイツ) となっている。

現在、ライフスコープ、ナイトビジョン関係の用語、特性、試験方法の規格の改正等が提案からDISの各段階で検討されており、今後も議論に参加してゆく。

そのほか、発行済みの規格については、見直しまたは改正が進められており、SC4国内委員会は、投票やコメントはもとより、これらの作業や審議に積極的に関わり、検討・討議を行なっている。また、必要に応じてこれらのISOをもとにJIS原案を作成し提案している。

4.1.2 SC4国内委員会活動経過 (2019.4～2020.3)

(1) 活動概要

- ・ 2019年度中に、コロナウイルスの影響によりSC4国際会議は開催されなかった。国内会議は1回開催した。
- ・ ISO投票は15件 (CD1件、DIS6件、FDIS 1件、SR7件) 投票し、その他コメント招請等1件に対応した。現在FDIS 1件の投票期間中。
- ・ ISO規格では、2021年2月に発行された1件を含む発行済み発行済み23件を所掌し、現在改正1件が作業中である。なお、改正以外の理由で廃止された規格は無い。
- ・ また、ISO14490-5望遠鏡意見方法第5部透過率、14490-6同第6部ベイリンググレア指数について、JSA公募制度に応募し、2020年度末にJIS制定原案を提出した。
- ・ ISO 14490-9:2019とISO 14490-10:2021の翻訳JISの提案を検討中。

4.1.3 (2) 会議

2020年5月 [SC4WG2国際会議 (WEB)]

- CD14490-5望遠鏡試験方法 第5部透過率の投票結果
- 14490-6のSR投票結果
- ナイトビジョン3規格 (14132-5、21094、14490-8) のWD原案の進行状況の確認

8月4日 [国内委]

- 9月2日 〆切のSR投票7件について検討した。用語関連の3件 (14132-1、14132-2、14132-4) については、対応JISの改正時にISOに修正提案をすべきとの意見があったため、それを基にコメント付き確認投票とすることとした。
- 残りのSR投票4件 (14134、14490-1、14490-2、14490-4) については特に意見はなく、確認投票することとした。

4.1.4 (3) ISO投票

2020年

4月 [CD投票及び結果] (JISCの投票は下線部)

- ISO 14490-5 望遠鏡試験方法 (第5部: 透過率) (〆切4/14、賛成7、コメント3、棄権0) Approved

6月 [DIS投票結果] (JISCの投票は下線部)

- ISO 14132-3:2021 望遠鏡用語(第3部:ライフルスコープ) (〆切6/6、賛成10(うちコメント1)、反対0、棄権0)
- ISO 14135-1:2021 ライフルスコープ特性(一般品) (〆切6/6、賛成10(うちコメント1)、反対0、棄権0)
- ISO 14135-2:2021 ライフルスコープ特性(高性能品) (〆切6/6、賛成10(うちコメント1)、反対0、棄権0)
- ISO 14490-3:2021 望遠鏡試験方法(第3部:ライフルスコープ) (〆切6/6、賛成10(うちコメント1)、反対0、棄権0)

9月 [SR投票及び結果] (JISCの投票は下線部)

- ISO 14132-1 望遠鏡用語(第1部:共通) (〆切9/2、賛成5、修正2、棄権2) Confirmed
- ISO 14132-3 望遠鏡用語(第3部:ライフルスコープ) (〆切9/2、賛成5、修正1、棄権3) Confirmed
- ISO 14132-4 望遠鏡用語(第4部:天体望遠鏡) (〆切9/2、賛成4、修正1、棄権4) No final decision
- ISO 14134 天体望遠鏡特性(〆切9/2、賛成5、棄権4) No final decision
- ISO 14490-1 望遠鏡試験方法(第1部:基本特性) (〆切9/2、賛成5、棄権4) No final decision
- ISO 14490-2 望遠鏡試験方法(第2部:単眼鏡双眼鏡スポッティングスコープ) (〆切9/2、賛成5、棄権4) No final decision
- ISO 14490-5 望遠鏡試験方法(第5部:透過率) (〆切9/2、賛成5、棄権4) No final decision

10月 [DIS投票] (JISCの投票は下線部)

- ISO 14490-5 望遠鏡試験方法(第5部:透過率) (〆切2021/1/1、賛成7(うちコメント2)、反対1、棄権1)

12月 [FDIS投票] (JISCの投票は下線部)

- ISO 14490-3 望遠鏡試験方法(第3部:ライフルスコープ)
(〆切2021/2/18、賛成9(うちコメント1)、反対0、棄権0)

2021年

3月 [FDIS投票] (JISCの投票は下線部)

- ISO 14490-5 望遠鏡試験方法(第5部:透過率) (〆切2021/5/14)

4.1.5 3. これまでに日本で原案を作成した規格

ISO 14132-4 望遠鏡用語(第4部:天体望遠鏡)

ISO 14134 天体望遠鏡特性(一般品と高性能品の2規格を統一)

ISO 14490-4 望遠鏡試験方法(第4部:天体望遠鏡)

4.1.6 4. 今後の国際会議予定

TC172/SC4/WG2国際会議が令和2(2020)年5月20日にWeb会議にて開催された。これはコロナウィルスの問題が発生する前からの予定であり、日本からも参加した。また、2020年11月9-13日にClearwater(米国フロリダ州)にてTC172総会に合わせてSC4会議も開催するとのアナウンスが当初あったが、キャンセルされ、Web会議でも開催されなかった。2021年についても顔を合わせての会議は中止とのアナウンスがなされており、Web開催を検討中とのことである。

4.1.7 ISO電子投票状況、ISO/TC172/SC4/WG2会議の報告内容は割愛させていただきます。

ISO規格の制定、審議状況は別紙をご参照願います。

4.2 ホームページ関連事業

令和元年度事業報告・収支報告、及び令和2年度事業計画・収支予算書(6月)、会員名簿・役員改選、財務省統計(3ヶ月毎更新)、イベントカレンダーの更新(1回)、検査工具機器在庫情報の更新(2回)とコロナ禍における検査業務など適時更新した。

また、新たにギャラリーページを設けた。コロナ禍が長引く事情を勘案して一般の方に双眼鏡や天体望遠鏡などを楽しんでいただけるよう、カテゴリーは野鳥・天体・風景・スポーツ/コンサート・歴史・その他とした。

なお、画像は望友会メンバーを中心に、工業会関係者からも提供いただいております。

4.3 イベント関連事業

4.3.1 経済産業省こどもデー2020

8月に開催予定のところ新型コロナウイルスの影響により開催中止となった。

4.3.2 野鳥関係 ジャパンバードフェスティバル(JBF2020)

新型コロナウイルス感染症のため初のON LINE開催となった。

会期:令和2年11月7日(土)~8日(日)、ON LINE開催、会場:千葉県我孫子市水の館他

主催:ジャパンバードフェスティバル実行委員会(事務局は我孫子市)

実行委員会:令和2年4月21日総会、6月17日、8月5日、10月7日、11月24日、令和3年2月17日

なお、会議は8月5日(JBFをON LINE開催を決定)を除き全て書面審議によりおこなわれた。

4.3.2 CP+2021

新型コロナウイルス感染症のためON LINE開催となったが参加は見送った。

4.4 調査広報事業

4.4.1 公式発表されている財務省関税局輸出入通関統計(双眼鏡、単眼鏡、ライフルスコープ等)をホームページに掲載すると共に会員向けには会報内に掲載。なお、会員企業による自主統計は継続中。

4.4.2 国内外の市場・流通動向:諸統計にて掲載。

4.4.3 イベント案内:ホームページに掲載すると共に会員向けには会報(電子メール)にてお知らせした。

4.4.4 事業成果の普及:通常総会にて承認後、ホームページに掲載した。

4.5 関連団体提携事業

4.5.1 軽機械センター運営協議会への参画事業:中国・欧州情報収集

・①令和2年7月30日、+CiscoWebexによる幹事会に出席した。令和2年決算書を審議し承認された。また、欧州駐在の長宗代表よりブラッセルのコロナ事情についてご紹介があった。

②令和3年2月8日、CiscoWebexによる幹事会に出席した。令和3年予算書

・欧州情報、中国情報は週一の割合で配信されている。

・会員構成:(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会、日本機械輸出組合、JETRO、(一社)日本時計協会、(一社)カメラ映像機器工業会、(一社)日本縫製機械工業会、(一社)日本望遠鏡工業会

4.5.2 日本光学工業協会への事業運営参加:国際標準化規格、JIS関連、技能検定等々、TC172活動報告の発行

・6月22日(月)役員会(事業報告&会計報告、事業計画&収支予算書)に出席した。

・会員構成:日本顕微鏡工業会、日本光学測定機器工業会、日本医用光学機器工業会、(一社)カメラ映像機器工業会、(一社)日本測量機器工業会、(一社)日本写真映像用品工業会、(一社)日本望遠鏡工業会

4.5.3 (一社)日本写真映像用品工業会との業務提携:情報共有、及び会員に用品年鑑を配布した。

4.5.4 (一社)天体望遠鏡博物館(四国東さぬき市)との業務提携:情報共有をおこなった。

4.5.5 日本天文協議会(2010年9月9日発足)への参画:コロナ禍の影響で活動は特になし。

・平成28年(2016年)2月18日付で入会。

日本天文協議会(抜粋):世界天文年2009の成果を引き継ぎ、日本の天文研究、普及・アマチュアが一体となって、天文と科学の理解を日本の社会に広げるための合同組織(会長:渡辺潤一 副台長)。

会員構成:(公社)日本天文学会、自然科学研究機構 国立天文台、宇宙航空研究開発機構、天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、日本天文愛好者連絡会、星空を守る会、(一社)日本望遠鏡工業会

4.6 経営環境関連事業

4.6.1 研修会開催事業(技術委員会主催):コロナ禍の影響で開催は見送られた。

4.6.2 部会活動事業(業界活性化委員会):コロナ禍の影響で開催は見送られた。

4.6.3 会議室及び事務所のエアコンフィルター清掃実施(4基)、寿命の蛍光灯をLEDへ切替えた(7基)。

4.6.4 リモート会用にZoomを年契約し、総務広報委員会、JIS原案作成委員会、望友会に使用した。

5. 検査・測定機器

5.1 検査依頼:合計43件(前年33件)

依頼検査・性能検査(3件)、検定・校正(視度望遠鏡25件)、分光透過率測定(12件)、証明書発行3件

5.2 検査器具販売:合計227件(前年121件)

視度望遠鏡216本(前年109本)、ダイナメーター低倍1個、タングステンランプ10個。

6. 行政府機関等への調査協力

6.1 経済産業省産業機械課:セーフティネット保証5号、分類番号2751:顕微鏡・望遠鏡
データ内容は主力のプリズム式双眼鏡に関して、自主統計(協力企業)をもとにした生産・販売動向。
新型コロナウイルス感染症の影響により、対象業種が不況業種となりデータ提出は休止中。

6.2 東京都産業労働局商工部経営支援課:東京都概要調及び業種別動向調査、12月回答済み
動向調査期間:令和年10月~令和2年9月、概要調:令和2年12月末

・団体情報連絡会(セミナー)への出席:令和2年12月15日

・中小企業支援事業説明会:令和3年3月、コロナ禍の影響で開催中止(書類受理)。